



欧州現代事情Ⅱ

CURIOUS U

2019年度春学期教養科目（2年生）

好きな専門分野を1科目選択して10日間学んでいく
学術分野特化型（午前2コマ&午後4コマ）

該当科目（16科目 文理混合-近年話題になっているトピックを開講している）授業も講義形式ではない。

住居のデフォルトはテント（ヨーロッパでは珍しい）、プラスアルファ支払えばキャビン（250ユーロ）や寮（300ユーロ）も選択可能。

2019年度春学期 全学教養科目 欧州現代事情Ⅱ・Curious U

オランダのトゥエンテ大学で実施されるサマープログラム (CuriousU) に参加し、興味がある専門分野科目を英語で履修します。また、アムステルダムに2日間滞在します。

説明会

4/11, 18, 25, 5/9 (木) 12:15-12:45 国際棟207

CuriousU単独説明会 4/22 (月) 12:15-12:45 国際棟207

5つのポイント

- ①「全学教養科目」の単位認定あり
事前授業+現地研修+事後授業の3部構成
- ②好きな「専門分野科目を英語受講」
豊富な科目数の中から、自分の好きな科目を1科目選択して、午前中2コマ、午後2コマ授業を受けます。
- ③「勉強とフェス」のコンビネーション
夕食後は、毎日イベントがあり、スポーツ、ダンス、ゲーム大会など、授業以外の学生とも交流できます
- ④日本人少なく「欧州全土から約200名参加」
比較的、日本人大学生の参加が少なく、反対にヨーロッパ全土から多くの大学生が参加します。
- ⑤「テント滞在」(無料)で費用を軽減
滞在中の住居は「テント」、「キャビン」、「寮」、「ホテル」の選択肢があります。ほとんどの学生が「テント」に滞在。

研修企画実施: 海外留学室、University of Twente (CuriousU)

専門授業のテーマ(例)

- ・ English for Academic Purposes
- ・ Robot Interaction ・ Smart Cities
- ・ Governance and Ethics of Technologies,
- ・ BLockChain Tech ・ Risk Management
- ・ Finance bootcamp for Smart Businesses 他

履修願提出方法

説明会に参加後、担当教員との個人面談を経てウェブ上から履修希望を提出

締 切 | 2019年5月16日(木)正午

申込方法 | 海外留学室ウェブサイトから

問合せ先 | 海外留学室 (国際教育交流センター)

✉ abroad@iee.nagoya-u.ac.jp

☎ 052-789-4594

授業・海外研修予定

海外研修: 2019年8月8日(木) - 21日(水)

対 象: 全学部生 (最小履行人数: 5名)

費 用: 約28万円*

*海外旅行保険、個人的交際費等は、上記に含まれません。また、外貨為替レートにより金額が若干変動する可能性があります。

奨学金: ①JASSO奨学金・8万円

②名大奨励金・10万円(滞航費支援)

(上記奨学金は支給条件あり)

名大での事前・事後授業(国際棟教室):

【事前授業】

①6/5(水) ②7/3(水) ③7/24(水) 5-6限目

【事後授業】

④8/29(木) 3-4限目

↓ CuriousU概要 ↓



↓ 申込サイト ↓



CURIOSU SUMMER SCHOOL

CURIOSU 2019: MAIN SCHEDULE

	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30						
SUN 11-08				Arrival day: check in																Meet-up and pizza														
												Jogging & sightseeing campus																						
MON 12-08	Breakfast & keynote: Misam Bollen & Melanie Droogbeek-Fortuna			Course				Lunch: Taste the Netherlands & Speed Training				Course				Free	Dinner		Escape Rooms															
TU 13-08	Breakfast & keynote: Peter-Paul Verbeek			Course				Lunch: Curious about your future? & UT students' wonders				Course				Free	Dinner		Game night															
WED 14-08	Breakfast & keynote: Sofie Berghuis			Course				Lunch: C-the future of research & Dance Workshop				Course				Free	Dinner BBQ		Beach Volleyball Tournament															
TH 15-08	Breakfast & keynote: Geke Ludden			Course				Lunch: Playland				Course				Free	Dinner City Centre		City Centre Summer Sounds															
FRI 16-08	Breakfast & keynote: Elizabeth Mix			Course				Lunch: ExploreU & VR Parachuting				Course				Free	Dinner		Music Night															
SAT 17-08	Breakfast			Free day																Quiz Night														
SUN 18-08	Breakfast & keynote: Peter Joosten			Course				Lunch: Dutch Olympic games & Graffiti Workshop				Course				Free	Dinner		Movie night															
MON 19-08	Breakfast & keynote: Neil Sheridan			Course				Lunch: Cherishing Memories & Pinatas				Course				Free	Dinner		Farewell Ceremony															
TU 20-08	Breakfast			CuriousU Participants Departure																														

WE'LL BE OFFERING GREAT COURSES IN OUR HOTTEST RESEARCH FIELDS



- *Blockchain Tech*
- *Design the Future*
- *English for Academic Purposes*
- *EntrepreneurialU*
- *E-Sports*
- *Evaluating Future Health Technologies*
- *Finance bootcamp for Smart Businesses*
- *GIS & Earth Observation: The Essential Perspective for Projects*
- *Health and Happiness*
- *Leaders of Innovation and Impact*
- *Mix & Match*
- *Risk Management*
- *Robot Interaction Design Experience*
- *Serious Gaming*
- *Smart Cities*
- *Technology & Society*
- *Water*

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 理学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

1年生後期で履修していた「グローバル化と国際教養」の講義で紹介され、その講義の先生にもお勧めされたため。また、オランダは自分で選んでいけないだろうし、テント生活や夜のイベントなども面白そうに興味があったため。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

私の授業は、「leaders of Innovation and Impact」というもので、自転車を使い企業訪問に行ったり、バスで工場見学に行ったり、CEOとの夕食会をしたり、朝ヨガをしたり、建物からロープを使って降りるアクティビティをしたりした。授業内容は、様々な講師や企業の方などが来て、思考において大事なことや、ものの考え方、組み立て方、何かを成し遂げるときのプロセスなどについて学んだ。休憩中などは、ダンスをしたり、コーヒースペースでくつろいだり卓球をしたりした。また、企業訪問にいった会社の商品をどのようにして販売促進をするかについてグループを作りグループ内でディスカッションし、最終日その会社の社長や、市長が集まっている前で自分たちの構想を発表するというものを行った。なかなかついて行くのは大変なところもあったが、非常に有意義で、終始満足いくプログラムだった。日本人が私と近畿大学から個人で来た子の二人しか居なかったのも、様々な外国人と、クラスや移動時間、イベントなどで喋る後押しになり、私にとってはラッキーなことだった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダムは意外と寒い。上着はあって損はない。が、帰りの飛行機で、お土産を買いすぎて重量オーバーにならないためにも、行きはキャリーにスペースは空けたおいた方が良い。上着は持って行かずにオランダで買っても良いかも。大学はシャワーのみ。洗濯は非常に高い。テントは楽しいが少し寒い?かも。風邪薬等は多めに持って行って置いて損はない。日本からのお土産は喜ばれる。日本食 (インスタント味噌汁等) あっても良いかも。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

ジッパーが外側に出ないバッグを買った。心に少し余裕が出るのでよかった。「写真撮ってください」とお願いした人が必ずいい人とは限らないので、そこは注意した方が良いかも。(私は被害に遭わなかったが、写真を取ってくれた人に「注意した方が良いよ」といわれた。) 大学内でひたたくりにあった人 (アジア系の人) がいた。CEOとの会食のとき、終わる時間が遅く、また事前に共有されておらず、友達に迷惑をかけた。Wi-fiよりsimのほうがルーターなしで使えるから良いかもと思った。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

テント生活や、毎日のパン生活に不便を感じる人、あわない授業を取ってしまった人は少し大変かもしれないが、私としてはほぼ言うことが無く、非常に有意義な留学だった。しっかりと授業を選んで、現地で色々な人に話しかければ、とても楽しい留学になると思う。日本人の友達も、居るととても楽しい。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	200,000 円	
海外旅行保険		
授業料 (教材費含)	70,000	
滞在費 (寮費など)		
食費	2000 円	
交通費	3000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	60,000 円	Wi-fi より sim のほうがスマホ単体で使えて良いかも?
計	335,000 円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

ドイツにすぐ行ける！(移動時間 2 時間くらい?) とて面白い。

大学構内がおしゃれ！雰囲気が良い。スマホカメラ性能良いと楽しい。(以下の写真は自分のは無く撮ってもらったもの)

留学中メモとっておくと、帰ってきてから色々話せる。

お土産いっぱい買うと良い。

自転車超気持ちいい。

涼しくて避暑になる。

なによりクラスが非常に楽しかった！

以下画像



講義の様子

じゃんけんゲーム



じゃんけんゲーム1位!

イマジネーションを育む部屋で、
イマジネーションを育てている
ところ





CEO との会食

建物から降りるアクティビティ



最終日

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 医学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トゥエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

学生の間でしか、経験できない海外の大学で学ぶということを通じて、自分の視野を広げ、コミュニケーション能力を高めたいと思い、留学を検討し始めました。このオランダにあるトゥエンテ大学で開催される"CuriousU"には欧州全土からの参加があるというということで、強く興味を持ちました。また、私が大学で学んでいる「看護学」につながる"Health And Happiness"という講義を学ぶことができる点も非常に魅力的でした。看護学に関わる学問を海外で学ぼうとすると、1学期間や1年など長期にわたるものが多く、大学をきっちり4年で卒業したい私にとって、夏の長期休暇の間に行って帰ってこられるこの短期研修は、私の留学に抱いていた理想そのものでした。また、2年生という、大学にも慣れてきた今だからこそ、新しいことに挑戦する必要があると感じ、今回の留学を決意しました。

申込手続においては、MasterCardかVISAのクレジットカードがあれば、簡単に進んでいくと思います。私は、JCBのクレジットカードしか持っていなかったので焦りました。

語学対策は、講義に必要な単語をざっと見たぐらいでほとんどできていなかったのですが、瞬時に単語を思い出すことができなくてもどかしい思いをしました。もう少し、日本にいるうちに危機感を感じながら英語の勉強をしておけばよかったかと、後悔しました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダムでの1日自由行動では、8ユーロで買える電車や路面電車の乗り放題チケットや美術館の事前予約が非常に役立ちました。公共交通機関もわかりやすかったので、快適に観光することができました。

CuriousUでは、私は"Health And Happiness"という心理学系の講義を受講しました。グループワークが多く、自分の幸せな時の写真について話したり、e-healthの授業では例に出された患者さんにどのような対策を講じるべきかグループで話し合ったりしました。英語で話し合うのは難しく、何度も、もう話すの面倒だなと思ったこともありましたが、相手がすごく真剣に私の話を聞こうとしてくれているのが伝わってきて、私も頑張っって自分の意見を言おうという気持ちになりました。まわりの学生の優しさが胸に沁みました。また、講義では多くの心理学の基礎知識を学び、実験の映像なども見れてとても面白かったです。最後は、"Design The Future"の授業を選択した学生と6人のグループを作り、トゥエンテ大学の学生をより幸せにするにはどのような介入をするべきか話し合い、他のグループとアイデアを競い合いました。育った文化や教育環境が異なると意見の出し方や、意見の根拠となる経験、意見への反論の仕方も異なり、理解し合うのは大変なことでした。最も驚いたのは、グループという概念の認識の違いでした。私は、いいグループというのは一人一人が自分の役割を

理解し、分担して、自分の役割を全うしながら目標に突き進んでいくと思っていたのですが、私のグループの人たちは、みんなでグループなんだから役割を分担せずに何事もみんなで行き組もう！という人たちが多かったです。効率は悪かったですが、貴重な経験ができました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

アムステルダムのスーパーで買い物をしたり、お土産を買ったりした時にビニールの袋に入れて欲しいと言うと、別料金がかかるので日本からビニール袋を持っていくと便利だと思います。また、トゥエンテ大学のスポーツセンターにあるシャワールームは、床やものが置ける椅子が水浸しです。壁のフックにビニール袋をひっかけてその中に着替えをいれておくと濡れないので、ここでもビニール袋は必需品です。

学生寮の部屋には、大変満足しました。スマホがいつでも充電でき、部屋も暖かく、布団もふかふかでした。部屋には、冷蔵庫もあってお土産を冷やしておくこともでき、洗面所もあったので、水筒を洗ったり、歯磨きをしたりするのもテントの人に比べてすごく楽でした。また、学生寮には共同ですが洗濯機もあり、自分で洗濯することができるので、洗剤を持っていくこともおすすめします。大学で、ランドリーサービスを頼むと買い換えることができる位、お金がかかるので、自分で洗濯機が使える、部屋に干すことができる学生寮はすごく便利です。部屋には、ハンガーが3つありましたが、足りないと思うので家からも持っていくといいと思います。ただ、学生寮には2つのタイプがあり、1つは外から入るとすぐ部屋でトイレとシャワーが3人で共用のタイプ、もう1つは共用の入り口から入って、自分の部屋まで歩き、部屋に入るといったような外と直結してなくて、部屋に1人1つトイレとシャワーがあるタイプです。私は前者の方だったのですが、同じ寮に住む人のトイレやシャワーの使い方が荒く、汚かったので、スポーツセンターのシャワーを使っていました。普段からその学生寮にいる人たちの中に CuriousU の間だけ入っているようなものなのではないかもしれませんが、同じ金額を払っていてこの差はどうなのかなと思ってしまいました。そして、学生寮はメインテントから遠いので歩くのは大変です。20ユーロで自転車を借りられるので自転車で大学内は移動するべきです。20ユーロは、自転車の鍵を返却すれば全額返ってくるので実質無料です。自転車はフットブレーキなので最初は乗りにくいですが、慣れれば快適です。

最後に最も大切だとこの研修で思ったことは、防寒対策をすることでした。日本と比べてオランダはすごく寒かったです。朝と夜の冷え込みは秋ではなく、冬の始まりのように寒かったです。ヒートテックを持ってくるべきだったと毎日思いました。ヒートテックはかさばらず、軽いのでぜひ持っていくことをおすすめします。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

街の中では、人が近づいてきたら注意をむけて気を張るようにしていました。また、パスポートやお金を肩がけで体に密着するタイプのカバンに入れて盗まれないようにしていました。

1番危険を感じたのは、CuriousUの4日目の夜に近くの街の音楽フェスティバルに放りこまれたことです。24時半まで迎えにこないと言われて、街をぶらつきましたが、21時には

ほとんどの店が閉じ、明るい場所は少なくなりました。また、危ないお店があったり、覚束ない足取りの浮浪者がいたりして治安もあまりよくありませんでした。あんな場所につれていくなんで謎です。しかし、音楽フェスティバルに行かなければ、その日の夜ごはんが食べれないので参加するしかありません。音楽フェスティバルの中心にも行ってみましたが、もみくちゃにされて、足元にはゴミが散乱している状態でとても楽しめるような状態ではありませんでした。私は、大学の迎えが来る前に公共のバスを使って帰りました。ほとんどの名大生がそうしていたので、来年度も、もし街の音楽フェスティバルに放りこまれたら、迎えのバスを無理して待つことなく、公共のバスで帰るべきだと思います。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

授業は、専門的で理解するのがとても大変で、英語が得意な人でないといけないものでした。私は半分も理解できていなかったのが英語をもっと学習しておくべきだったと後悔しています。しかし、日本語が全く通じない外国でも、交通機関にふつうに乗れたり、学生生活が送れることがわかり、自信につながりました。また、毎日、目標を考えて、それを実現するために努力できたことはよい経験になりました。今後、留学を考えている人は、英語をできる限り勉強して、自分の自信につながる留学にしてください。大学生の今だからこそ、自由に使える時間が多くあると思うので、留学するかどうか迷っているなら、行っておくべきだと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約 220000 円	朝食付きホテル3泊、ザーンセスカンス・ユトレヒトの観光費用、送迎代を含む
海外旅行保険	約 15000 円	
授業料 (教材費含)	約 76000 円	授業料、CuriousU 中の食費
滞在費 (寮費など)	約 37000 円	テントならば 0 円に抑えられる
食費	約 7500 円	
交通費	約 3500 円	
その他 (小遣い、通信費など)	約 20000 円	内訳 (お土産 + 観光代約 13000 円、通信費約 7000 円)
計	約 379000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

私の一押しの写真は、ザーンセスカンスで見つけた犬の石像です。我が家で飼っているゴールデン・レトリバーにそっくりで写真を撮ってみました。他にも、オランダにはたくさんの像が道に飾ってあって楽しいので、ぜひ自分の一押し像を見つけてみて下さい。



アムステルダムでの1日自由行動では、Moco 美術館、アムステルダム国立美術館に行ってきました！特に Moco 美術館は、事前予約で開館時間である9時に時間を指定すると20%オフでチケットが買えてとてもお得です。そして、開館時間に行くことになるので周りにはほとんどいなくて、写真も簡単に撮れます。ゆったりとバンクシーの作品を見ることができました。



←Moco 美術館の外観
かわいらしい建物です。

Moco 美術館の外に展示してある鉄でできた木馬のようなものが乗ることができます！
乗ってみたのですが、目線が高くなってちょっと怖かったです。



アムステルダム名物のパンケーキも食べました。私が食べたのはリンゴとベーコンのパンケーキで、とても美味しかったです。お腹にたまる感じで、一枚でお腹一杯になりました。このパンケーキにメープルをかけて食べるのがオランダ流と聞いたのでかけてみたのですが、不思議な味がしました。このパンケーキのお店はクレジットでしか支払いができないので注意が必要です。



←トウエンテ大学
メインテント前(昼)

トウエンテ大学 →
メインテント前(夜)

大学は、どこをみても綺麗でした。



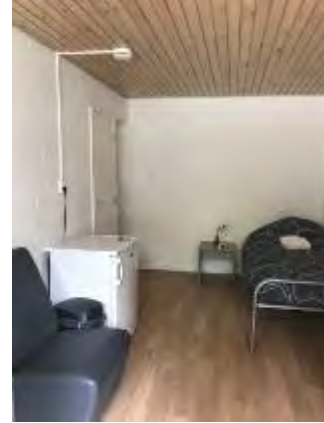
グループワークで作った模型です。→
お昼の時間も削って作った自信作で、この写真を見ると大変だったグループワークを鮮明に思い出します。白色の建物の部分は、3D プリンターで作りました。



大学の寮は、窓がすごく大きいのでカーテンを閉めていないと中、丸見えです。エアコンはないです。寮の中の写真に写っているドアから共用のトイレやシャワーにいけます。



↑寮の外観



寮の中→

CuriousU の間にある 1 日休暇は、ドイツに行ってきました。ドイツで食べた、食べものたちの写真です。



↑プレッツェル

中にドライフルーツが入っていて美味しかったです。



↑ワッフル

ふわふわで、中身と外側の温度差が絶妙でした。



↑ジェラート

いろんな味があってすごく迷いました。



←マカロン

開店した直後だったので、たくさんのカラフルなマカロンを見ることができました。特にチョコレートのマカロンが美味しかったです。

オランダからドイツに行く時、1 時間に一本の電車がなんの説明もなく、一本来なくなったことがあってすごく焦りました。日本では絶対経験できないことだなと思いました。

きちんと行って帰ってくることでよかったです。

・まとめ

オランダやドイツで自分のしたいことにたくさん取り組んで、経験できたことは自分の成長に大きく関わってくると思います。この研修から得たものを今後の大学生活に活かしていけるよう努力していきたいと思います。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 農学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

以前より留学を通して海外の人と交流する機会を作りたいと思っており、ヨーロッパに行ってみたかったこと、費用と時期が自分に合っていたことからこのコースを選択しました。また他のコースよりも英語に漬かれそうな印象を受けたことも決め手の一つです。事前授業の中で、短時間で英語を使い自分の意見を論理的に伝える練習をしたため、研修中大変便利でした。大学のテストが終わった直後の出発となったこともあり、自主的には特に勉強しませんでした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

実際に研修があったのは8/12~8/19の7日間でした。(8/17はフリーデー)
私の取ったコース(water)の概要は以下のようです。
8/12,13 座学 (基礎化学・物理、洪水、自然災害とその対策)
8/14,15 座学、実験 (半透膜作り、水の流れの研究)
8/16 校外学習 (企業見学 Wetsus と観光)
8/18,19 座学、シミュレーションゲーム (石油汚濁水、水の現象、川の水資源)
1日の流れとしては、9:30から12:30まで午前の授業があり、昼を挟んで14:00から17:00まで午後の授業があります。ほとんどの場合、午前と午後で別の先生が来て、それぞれ別の講義をしてくれました。3時間の授業なんて耐えられない!と思いましたが、2,3回15分間のコーヒブレイクがあるので、集中力はなんとか保てます。コーヒとお茶が常備されていたため、喉が乾いてつらい、ということはありませんでした。
授業の内容は、もちろん英語で進みますから、日本で授業を受けるよりも何倍もの体力が必要でした。しかし、想像していたよりも難しい単語はそれほど登場せず、集中していればノートが取れるくらいには授業の内容は理解できました。専門用語は出て来ますが、化学や物理の基礎知識があれば文脈から判断できました。
私のコースでは、特別に課題はなく、個人的にプレゼンを行うことはほとんどありませんでしたが、グループワークはたくさん行いました。同年代の海外の子達が何を考えているか知ることができてとても貴重な時間でした。3~4人グループなので必然的に自分の意見を発言していかなければなりませんでしたが、ちゃんと意味が伝わり、共感が得られた時の嬉しさは大きかったです。また、座学だけにとどまらない様々なアクティビティが準備されていたのがこのコースの特徴であり、選択した時点では知りませんでした。結果とても満足しています。
授業後はほぼ自由時間です。毎日、スタッフさんが企画してくれるイベントが開催され、そこで学生同士交流を深めることができました。それ以外にも、食事の時近くに座った人とお

話したり、授業で仲良くなった人とスーパーに行ったり、オープンな姿勢を見せていると英語は流暢でなくても楽しい時間が過ごせました。友達とは、趣味や自分の国の紹介などの簡単な話題で盛り上がることもあれば、自分や世界の将来についてなどの難しい話題を振られることもありました。自分の英語はまだまだ世界で使っていくには拙く、もっと勉強しようという気になりました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

多くの学生とは異なり、私は学生寮での滞在を選択しました。想像よりも気温が低く、常に20度前後、しかも晴れる日は稀だったため、寮でよかったな、と思う日が多くありました。さらに、洗濯機が無料で使えた（隣人に聞いたら使っていていいよと言われた）こと、シャワーとトイレ、洗面台が自室にあったことが大変助かりました。（自分の好きな時間に使えるため）課金の価値ありです。ただ寮のクオリティーや立地には差がありました。私のはクオリティーはよかったです、メインの会場から遠く、自転車で10分ほどかかりました。しかしオランダの大きな自転車に乗れるようになったのはいい経験でした。

食事は毎食スタッフさんが提供してくれますが、主にパン、たまにパスタです。そして野菜は皆無です。いつもは野菜がそんなに好きではない自分ですが、たまにサラダが提供されたときには飛び上がって喜びました。毎回多少の選択の余地があるので自分の中で調整するのがいいかもしれません。もしも飽きてしまっても近くのスーパーに美味しいご飯があるよ、と中国の子が教えてくれました。飲み物はコーヒーかお茶です（何茶かいまだにわからない）。水道水も飲めるそうです。個人的には、水道水を飲むことに若干の抵抗があったので、夜喉渇いた時用に水を買いました。価格は日本と同じくらいです。でも日本から2、3本持ってくればよかったなと思いました。

持参してよかったものはウインドブレーカーです。朝晩や雨の日は、本当は冬なんじゃないかと思える寒さだったので、暖かい上着が必須でした。寮からの移動は自転車だったので寒さに耐えられず、始終ださめのジャージ女でした。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

気を付けていたことは、街に出るときはボディバックのみを持ち運び、常に鞆が視界に入るようにしたこと。マリファナが合法であることもあり、吸っているのだろうなという人を割と見かけます（特に夜）。勧められた友達の話も聞きました。そういう意味で治安は良くはないです。しかし、昼間はそれほど危機を感じたことはなく、夜の栄の方がよっぽど治安悪いです。また、クレジット推奨の国なのか現金はほとんど使わなくて済んだため、現金は€50くらいの準備でよかったかなと感じました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

海外の人たちと英語で意見を交わすことも、一人で生活することも、いつもの日本での生活とかけ離れていて、とても大きな意味のある、濃密な2週間でした。これからこのような意見を持った人たちと手を取り合って社会で生きて行くのか、そのためにはもっと実用的な英語力が必要で、自分の意見をしっかり言えるようにならなければならないし、何より自分と世界をもっと知らなければいけない、と感じました。さらに、企業訪問の昼休みの時に、社員の方とお話しさせていただいた中で、日本とヨーロッパの働き方の違いをひしと感じ、将

来就職を考える際の就職先選びの基準も自分の中で感じることができました。

留学を検討した時の漠然とした視野を広げたいという思いは、実際具体的に自分の視野を広げ、様々な意欲が湧いています。

短期であれ、留学を経験すると世界の中での自分の立ち位置のようなものがうっすらと感じられるため、少しでも興味がある人はまず行ってみるのがいいのではないのでしょうか。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約 20.2 万円	航空運賃、ホテル滞在費
海外旅行保険	約 1.2 万円	
授業料 (教材費、寮費、食費含)	約 13 万円	CuriousU の費用、学生寮の費用
交通費	約 0.2 万円	観光に使用
その他 (小遣い、通信費など)	約 2 万円	観光時の食費や個人的な買い物
計	約 36.6 万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

アムステルダムでは、ネットにおすすめされる観光地以外のおすすめはモコ美術館です。

バンクシーの作品など独特で見飽きることのない作品が数多く展示されていて見応え抜群でした。→

国立美術館も行くべき！

ネットでチケットを買うと少し安いです。



研修中のフリーデーはドイツへ行きました。

たくさんの屋台やフリーマーケットが並んでいて日本とは違う賑やかさが感じられます。

経験のために本場ビールを飲みました。ビールの味が好きではないので、美味しく飲めませんでした。

また、自分は sim カードや wi-fi ルーターを持って行かなかったのですが、ホテルや大学はもちろん街にたくさんのフリーwi-fi があったので、不便しませんでした！LINE もインスタもさくさくです

街並みと人々が美しいので、どこにいても楽しい、のどかでいいところです。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 情報学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・Curious U
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

ヨーロッパに行けるし、テント泊というのも面白そうだったから。また他のどのプログラムよりも英語で話すことを求められるものだと思ったから。事前に行った対策としてはTOEICの勉強や、単語力の向上。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

最初のアムステルダムでの滞在は完全に観光。治安も悪くなく特にトラブルもなく楽しく観光をした。美味しいカフェやパンケーキなどもいただけるのでぜひ探して欲しい。Curious Uにおいては英語力の向上を目的としていたので English for academic purposes という授業を受けた。内容としては、レポートや論文を書く際に用いる英語の書き方の習得という感じで、パラグラフの構成、使わない方がいい言い回しなどについて学んだ。難易度としては決して低くはないが英語の能力に自信がない人は他の専門クラスを取るよりはこちらをとったほうが安心ではないかと思う。他の専門分野を英語で学ぶクラスの人を楽しめている人もいたがかなり苦労している人もいる印象があった。ただし、この英語のクラスは一人一つ約15分~20分の英語のスピーチを作る必要があるのでラップトップとそれなりの覚悟が必要。ただし準備時間は授業内で十分確保してくれるので心配はいらない。20人いないくらいの少人数授業でそれなりに楽しく受けることができた。

授業外では毎晩何かしらのイベントがメインの大きいテントなどで行われており、どれも面白い。最初は日本人同士での参加が目立ったが、みんな段々と様々な国の人と参加するようになり仲を深める大変良い機会になったと思う。特に Music night は日本人には馴染みが薄く刺激的なのではないだろうか。総じてイベントごとには事欠かず昼も夜も何かしらイベントがあるので楽しい。濃厚な10日間を過ごすことができた。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダムで滞在したホテルは広々としており清潔、ご飯も美味しいので文句なしという感じだった。ただし、エントランスにある売店は大変高いのでできれば外のスーパーで買い物をすることをオススメする。これは駅の売店などでも同じでオランダはやや物価が高い印象を受けた。次に十日間に渡って寝泊まりしたテントだが、はっきり言って少し過酷だった。例年はもっと晴れている様子だが、今年は天候の悪い日が続いてしまい、あまりの悪天候で大学のスポーツジムに避難して寝泊まりする日もあった。晴れていれば暖かくとても気持ちが良いのだが、雨が降ったあとは特に朝方が寒く9℃しかなかった日はなんども目を覚ましてしまった。晴れてさえいればテントも割と広くて快適だが雨が降ると厳しい。こればかり

りは運によると言ったところだ。とにかくテントに宿泊する人もそうでない人もせめて秋口用の服をいくつか用意する必要があると思う。また、自分は風邪をひいてしまい風邪薬がなかったら結構やばかったので風邪薬とマスクやティッシュ類は多めに持っておくと安心だと思う。そしてこれまた問題なのが洗濯事情でテント泊の人が洗濯のサービスを使うと呆れるほど値段が高い。自分の場合は寮に泊まっていた友人にランドリーを借りたのでなんとかなったが距離がやや遠い。よってテントに泊まる人で洗濯の手間を減らしたい人は全日程分の下着は最低でも持っておくべきだと思う。上着なども Y シャツとかにして肌着の交換だけにするなどの工夫をすると良いだろう。次に貴重品の管理だが、油断さえしなければそうそう取られたりはしない。テントに物を残してかなりの時間離れることになるので不安だったが特に問題はなかった。しかし、日本人ではないがパスポートを紛失した人がいるとも聞いたのでどんな時でも貴重品は身につけておくべきだと思う。また小さい南京錠を買っておくと一応テントのチャックを開けられなくすることができるので持ってくるとよいと思う。他に持参して役だったものはやはり日本のお土産だろうか。おにぎりせんべいを持参したが喜んでくれる人も多く話のネタになったりしてよかったと思う。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

オランダ自体はそこまで治安の悪い国ではないので今回特に危険を感じた場面はなかったが、事前に行われた危機管理オリエンテーションで学んだ当たり前にしておくべきことはやった。財布は現金しか入れない財布とカード用に分けておいた。リュックサックの扱いなども気をつけた。エンスヘーデはのどかな感じなので気をつけるとしたらアムステルダムでの行動だと思うが、普通に観光するような場所なら危険は少なく、飾り窓や Coffee shop に迂闊に近寄らなければ特に問題はないであろう。ただしどこに行っても本当に自転車が多くわりに油断すると危ないので気をつけて欲しい。マナーは良いがもはや自転車優先が当たり前なので左右の確認をしてから道を渡ろう。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

自分は3月にフライブルクの研修に行っていたが、今回ほどの国際交流は得られなかった。他の同様の研修に参加したことのある人も言っていたのでおそらくそうだと思うがこの研修は交流をしなければならぬ場面が本当に多く、英語をもっと学びたい人にはうってつけの研修ではないかと考える。こんなにも多種多様な国籍人種の人々が集まるイベントもレアであり、かなり良い経験になったのはいうまでもない。もちろん自分から話しかけにいくくらいの努力は必要だ。最初はかなり苦労したが皆頑張っって外国の人たちと仲良くなっていたように思う。事後授業にいた人たちは皆楽しかったというし、英語を喋ることへの慣れも伺うことができた。日本にいてはなかなか得られない環境のなかでの生活はかなり刺激的ではないかと思う。帰国後には仲良くなった日本人同士で新たな国際交流の機会を手に入れようと次の目標(国際交流系のサークル活動への参加など)を定める人も少なくなく、それぞれ次のステップへと足を踏み出しているようだ。交換留学を検討し始めた人も多い。そのくらい大きな影響を与えた研修なのだと思う。もし1ミリでも留学に興味があるならこの研修はうってつけのものではないかと思う。参加をオススメする。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	160,000 円	
海外旅行保険	10,000 円	
授業料（教材費含）	円	
滞在費（寮費など）	120,000 円	アムステルダム滞在費含む
食費	円	
交通費	10,000 円	休日のドイツ旅行代
その他（小遣い、通信費など）	?円	
計	300000 円	プラス2、3万円はすると思う。

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

なぜか写真がうまく載せられなかったので言葉で。感想のようなものになるが、私は今回の留学にかなり満足している。2週間を無駄にしないで過ごした自信があるからだ。正直に言って事前授業はかなり大変だったし、面倒に思っていた自分がいる。しかし結果的にはそれに救われた部分は多いように思う。行く前から知り合いを得ることができたことはもちろん、英語を書いたり考えたりする機会が手に入り、オランダでぶっつけ本番とならずに済んだのだ。また今回はオランダでの目標リストを作る課題があったのだが、それによってより明確に自分のやるべきことを理解できていたことで積極的に自分から話しかけることができたと思う。やらねばならぬ、という思いがあった。結果として自分のことを少しは褒めてもいいのではないかと、うくらいに頑張ることができたと思う。終わった今ではなんとでも言えるがはっきり言って英語だけで外国の人と話すのはすごく気疲れするし、緊張もする。とにかく慣れるまでの心の疲労がすごかった。日本人と話す方がはるかに楽しし落ち着く。そう感じて甘えそうになった機会は幾度となくあった。しかしわざわざこのような遠いところまで来た意味を考えて欲しい。短い時間を可能な限り異国の人と使えたのは本当によかった。もしこれを読んでいるあなたがこのプログラムに参加するのであれば、十日間ぜひ頑張り抜いて欲しい。多くの経験があると思う。言いたいことが言えなかったり、何を言っているか聞き取れなかったり、そんな場面はいくらでもあった。大変悔しかった。私はこの思いを忘れない。次に彼らに会うときは、日本の友人と話すのと変わらないくらいの気持ちで、なんの気兼ねもなく談笑できるようになっていると約束する。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 文学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私は将来長期留学を考えていたので、海外での授業を体験してみたくてこのプログラムにしました。また、他の多くの国からも学生が集まるため、様々な国籍の人と交流ができる点も良いと思いました。私は出発の直前まで期末のテストやレポートがあり、あまり準備に時間が取れずに直前になってドタバタしてしまったので早めに準備を進めておけると良かったです。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

私は English for academic purpose の授業を受けました。授業の前半は文法やアカデミックライティングを中心に学び、後半に一人 15~20 分のプレゼンテーションがありました。グループディスカッションも多く、共同で課題に取り組んだり、お互いのプレゼンテーションについてコメントをしあったりしました。プレゼンテーションの内容は自由だったので私は自分の専攻である文学についてのプレゼンを行いました。先生や他のクラスメイトから良かった点と改善点の両方のフィードバックをもらったのは自分にとってとても励みになりました。クラス全員がノンネイティブで半分以上日本人だったので授業のレベルもそれほど高くなく、アットホームな雰囲気でした。ただ、他のコースを取った方がもっと外国の方と交流できたりネイティブのクラスの雰囲気を体験できたのかなと思います。クラスは朝 9 時半から昼食をはさんで午後 5 時まで、昼食の時間や夕食後に様々なイベントがあるので、そこでも新しい人と交流できたりもして毎日とても楽しかったです。様々な国籍の人と話したり、中には働いている社会人の方も参加していて、そういった方々との会話はとても新鮮で刺激になりました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

日本よりもかなり涼しく、日中は薄手の長袖でちょうどいいくらいでとても過ごしやすかった反面、CuriousU ではテントに滞在したので朝がとても寒かったです。また、洗濯が高いのので着替えをあまり多く持っていかなかったことを後悔しました。私は防寒着もあまり持って行っていなかったのでアムステルダム観光時にパーカーを買って研修中ずっとそれを重宝していました。(笑)

アムステルダムではホテルに滞在したので朝食がバイキングで、いろいろと新しい食べ物にも挑戦できたし本当においしいものばかりでした。CuriousU のプログラム中の食事はパンが中心でハムやチーズ、野菜をサンドしたりジャムを塗って食べたりしていました。飲み物を持ち込んでいたのですが水筒をもらって水を入れれたり、食事の時はお茶とコーヒーのサーバーがあるので必要なかったです。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

貴重品の持ち歩きには服の下に隠せるトラベルポーチを使ったり、かばんも簡単に開かないよう工夫していました。南京錠を持っていると便利です。街中へ行くときは注意していましたが、大学内では特に危険は感じませんでした。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

私は海外へ行くのも初めてだったので全ての経験が新鮮で、貴重な体験になったし、様々な新しいことに触れたことで新たな興味がわいたり、今後の勉強へのモチベーションが上がったりもしました。また、自由行動ができる時間も十分にあったため観光もかなりすることができ、大学での授業と、街の雰囲気の両方を体験することができたのでとても充実した2週間になりました。授業もたくさんのコースから選べたり、イベントもたくさんあるので自分次第で様々な経験や自分のやりたいことができるプログラムだと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	20万円	ビザは不要。
海外旅行保険	1万円	
授業料(教材費含)	7万円	
その他(小遣い、通信費など)	3万円	
計	31万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



←アムステルダム観光で訪れた国立美術館。とにかく広くて、その規模に圧倒されました。レンブラントやフェルメールの有名な絵も見れました！

→オランダと言えばチーズが有名。お店ではたくさんの種類のチーズを試食することができました。



←大学がドイツとの国境に近い位置にあるので、授業が休みの日にはみんなでドイツを訪れました。これはオランダもそうですが、街並みが本当にきれいでどこをとっても絵になります。

→10日間泊まったテント。広くはないですが中にはマット、寝袋、枕があります。シャワーは少し離れたところにあるスポーツセンターへ行って浴びていました。



短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

元々海外留学に興味があり、その中でもヨーロッパ圏に行ってみたかったので、今回の研修を選択しました。渡航前の事前授業で自己紹介等をあらかじめ考えることができたので、あまり不安はありませんでした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダムでは主に観光をし、トウエンテ大学では Technology&Society を選択しました。授業は午前と午後で3時間ずつ、1日6時間で、基本は講義でその後いくつかのグループに分かれてディスカッションをし、ディスカッションの内容について軽く発表するという形式でした。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダムではホテルに泊まりました。ホテルのアメニティは充実しており、特に不満はありませんでした。トウエンテ大学ではテントに泊まりました。テントは鍵をかけることができないため、セキュリティが気になる人はテントの入り口に鍵をかける用に小さめの南京錠などを持って行くことをおすすめします。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

財布をいくつか持って行き、現金を分けて持つことで、万が一財布を一つ盗まれてもすべての現金がなくなるようにしました。集団で行動していれば被害を受けることはあまりないと思いますが、万が一を考えて対策しておくことが大事だと思います。

5. 留学を終えて感じること & 留学を考えている学生へのメッセージ

今回の留学を終えて特に必要だと感じたのは、英語力です。外国の方と日常会話などを話すときには、多少英語がわからなくとも聞き返したりすれば簡単に言い換えてくれたりゆっくり話したりしてくれますが、授業での講義となると、わからないことをその都度聞くのは授業の妨げになりかねないため、英語力、特にリスニング能力が無いと厳しいと感じました。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約 2 1 万 5 千円	
海外旅行保険	約 1 万 5 千円	選ぶ保険によって変動します。
授業料（教材費含）	約 7 万円	通常より割引がされました。
滞在費（寮費など）	-	テントの料金は授業料に含まれます。
食費	約 5 千円	食べるものによって変動します。
交通費	約 5 千円	行く観光地によって変動します。
その他（小遣い、通信費など）	約 2 万円	買う量や種類によって変動します。
計	約 33 万円	おおよその数字です。

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



大学での生活がほとんどになりますが、観光を楽しむ時間も十分に用意されています。

アムステルダムのダム広場では日には祭りが開催されており、私が行った日には様々な映画やアニメのコスプレをした人たちがたくさんいました。写真のミッキーマウスの偽物みたいな人以外にも、ダースベイダーみたいな人などもいて、とても賑わっていました。

アムステルダム以外にも、サマースクールには休日もあるので、その日を利用して観光することも可能です。私はその日はドイツのハノーファーというところに行きました。ソーセージなどを食べたり、市庁舎をのぼったり、満喫できました。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

まず、留学をしたいという思いがずっとあり、探してみたらこのプログラムに当たりました。過去に一度留学した際に積極的に話すことができなかったので今回こそはと言う思いもありました。ほかのプログラムではなくこれを選んだかということ、一番大きな理由は値段です。似たような期間でオーストラリアでも留学プログラムがありましたが、値段が倍でした。親はお金のことは気にしないで良いと言ってくれましたが、倍ともなると少し気にしてしまいました。2番目の理由は、ほかのものは語学留学だったのに比べて、これは英語を使って何かをするという色が強かったことです。しゃべれなくてもぶつかってみれば意外としゃべれると前回の留学で感じていたので思い切ってこれを選びました。

申し込み手続は先生の指示通りにやりました。単位認定をするためなのか思いのほか課題が出ましたが、そこまで大変なものはなく楽しく事前準備できました。語学対策は、本を買ったりしていたのですがだらけているうちにあまり勉強しないまま留学に行ってしまいました。語彙力を日頃からもっと蓄えられたらよかったなあと思いました。一つ、とても良いなと思った事前研修のグループワークがありました。言葉を一切使わずに一番高い塔を建てるというものです。事前に言葉が使えないもどかしさを感じられました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダム滞在中は普通に観光でした。観光地を巡り、自由行動の日には行きたいところにペアの子と行き、非常に楽しめました。ビールが好きならハイネケンエクスペリエンスにいくといいと思います。キュリオスUでは私はロボットインタラクションという講座をとりました。はじめは簡単なロボットを組み立て、あらかじめ用意されたプログラムを入れるだけなのですが、最終的には自分たちでどんなロボットを作るか決めて、作り、プログラミングをし、発表しました。基本はキットにあるものを使いますが、TAや教授に言えばいろいろなものをらせてくれました。基本的にグループごとに作るので、たくさん外国人と交流できました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

テント生活はやめた方が良いです。テントの新旧もあり、型によっては大雨が降ると雨が中に入ります。朝はよくテント内が結露します。雨や結露は、今年の天気があり得ないほど悪かったことも関係するかもしれませんが。またテントを選ぶとシャワーがスポーツセンターのシャワールーム。洗濯はとても高い依頼式です（靴下一足 1.5 ユーロなど）。寮がおすすめです。持参してよかったものは日本からのお土産です。おにぎりせんべいとキットカット抹茶味を持って行きましたが、話の種にもなりよかったです。また、クレジットカードは必須です。カードオンリーの支払いがちょくちょくありました。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

少なくとも 2 人で行動しました。また人が多いところではリュックを前にもったり、人気のない道を避けて通りました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

積極的に話しかけることがとても大切だと実感しました。英語が苦手ならむしろ自分がたくさんしゃべって会話の主導権を握ると良いです。難しい英単語を聞き取らなくてもすみます。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料 滞在費	22 万円	大韓航空。滞在 2 週間。キュリオス U ではテントを選んだため滞在費はアムステルダムのみ。
海外旅行保険	1 万 4 千円	
授業料（教材費含）	6 万円	
食費	円	覚えていませんがキュリオス U では基本三食付き
その他（小遣い、通信費など）	4 万円	食費など合わせて 400 ユーロ持って行きましたが 100 ユーロほど余りました。
計	33 万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



```
R02_Line_Follow §
robot.playFile("music.mp3"); // play a song from the SD card

// Add the instructions
robot.text("Line following\n\nplace the robot on the track and hit the 'Start' button to start.", 5, 5);
robot.waitComplete();

// These are some general values that work for line following
// uncomment one or the other to see the different behaviors of the robot
Robot.lineFollowConfig(14, 5, 50, 10);
//Robot.lineFollowConfig(11, 7, 60, 5);

//Set the motor board into lineFollow mode
Robot.setMode(MODE_LINE_FOLLOW);

// start
Robot.fill(65, 255, 255);
Robot.stroke(255, 255, 255);
Robot.run(0, 0, 128, 80); // erase the previous text
Robot.stroke(0, 0, 0);
Robot.text("start", 5, 5);

Robot.stroke(0, 0, 0); // choose color for the text
```

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 法学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募のきっかけは、昨年に続いて夏休みという長い期間を用い、海外で英語を使った学習をしたいと考えたからです。しかし、インターンシップ等の兼ね合いもあったため、1年間の長期ではなく、短期の欧州現代事情を選択しました。

申込手続に関しては、隔までサイトを見ることを心がけました。結果的に、プログラムの内容をかなり事前に把握できたのでよかったです。

事前の語学学習に関しては、他の皆さんが TOEFL 等の試験対策を行った、リスニング用 CD を買って練習したなどを書いて下さると思うので、私は少し違う方法を書いておきたいと思います。自分は普段やっているゲームを可能な限り、全て英語表記にするなどの趣味の時間に英語を取り入れて勉強していました。サッカーなどのスポーツが好きな方は、試合の実況を海外の英語解説で見てみるなど、方法自体は探せばいくらでもあると思います。こうした、留学プログラムの参加をきっかけに英語の試験勉強を始めることは大変素晴らしいことだと思いますが、事前の語学学習は試験対策に限らないことを知って頂けたら幸いです。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダムやユトレヒトの滞在は単純に観光として、大変楽しめました。どこがどういった様子なのかは、ここで書く話でもないと思うので、是非参加してあなたの目で体験してみてください。ただ、気をつけることは、食べ過ぎない、無理に道路を横断しないなど、無茶な行動をしないことだと思います。

トウエンテ大学では、私は Risk management のコースを選択しました。時間数としては、朝の 9:30 に講義が始まり、17:00 で終了します。昼休憩が途中で挟まりますが、午前と午後で講義内容が変化します。内容としては、以下に箇条書きで記しておきます。

- ・ Risk management 入門
- ・ Cyber Security における Risk management
- ・ オランダの工業における Risk management
- ・ Data Science における Risk management
- ・ Innovation Project における Risk management

などです。基本的に Risk management のクラスは、講義形式で進むことが多いですが、質問されることもかなり多いので、英語で聞いて、話して、の学習ができるか否かは自分のやる気次第な面が多いです。課題に関してはほぼでません。一部、日本における数 3 の微分積分、プログラム言語に関する知識が必要な部分がありますが、非常に少ないので未履修でも問題ない範囲です。講義は、パワーポイントと共に解説が行われるのですが、非常にわかりやすく、そのパワーポイントの後日公開されるので、復習も容易です。

学生同士の交流に関しては、朝ご飯、昼休憩、講義後のアクティビティなどは、メインテントに集合するのですが、そこでかなり行うことができます。様々な国の人がいるので、色々な興味深い話を聞けると思います。トランプなどの道具も置いてあるので、それに誘ってみるのも良いかもしれません。トランプ 1 つとっても、遊ぶゲームが日本と海外ではかなり異なります。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

住環境に関して、主にテントとそれ以外で悩むかと思いますが、自分は学生寮をおすすめします。海外という慣れない土地で 1 週間以上もテント生活をして、体調を崩す要因をわざわざ増やす必要は無いでしょう。テント生活では、もちろん電気は満足に補充できませんし、洗濯も有料 (かなり高額です)、トイレもテントの場所によってはかなり遠く、シャワーは時間制限があり、自分の好きな時間にあびることはできません。さらに、オランダはかなり雨が多いため、夜に降った後の朝の気温の低下がかなり顕著です。向こうから支給されるのは寝袋だけなので、防寒対策も余分に必要です。以上の様に、体調を崩す要因はかなり多いです。その代わりに、周りには常に日本人の仲間達がいます。寮では、エアコン等完備、シャワーも自由に使用可能、洗濯機は寮内にある上に無料など、かなり快適に過ごすことができると思います。結論としては、環境の快適さを取るか、日本人の仲間達と常に一緒にいるかどちらかだと思います。(寮でも人数は少ないですが、同じ CuriousU の仲間達はいます)

食生活に関しては、朝昼夜と、大学内にいる間はかなり同じメニューが続きます。大学内にある生協で、自分で果物などを購入して食べると健康にも良いと思います。

金銭管理に関しては、常に保管場所を 2 カ所以上におきましょう。パスポートとその写しも同様です。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

基本的には安全管理の講習で聞いていた内容を実践するだけで問題ありません。その講習で無かったことを追記するならば、

- ・長財布はやめた方が良い
- ・写真撮影してはいけないところは現地ではなく、事前に確認したほうがよい

といった点です。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

やはり、海外にもう一度行ってみたいと感じています。これはできなかったことに関する後悔というよりは、さらに自分を高めていきたいからという理由です。基本的に英語しか通用しない世界で 2 週間も滞在することは、それだけでかなり勉強になるとおもいます。英語だけでなく、他の国の人々との付き合い方も学ぶことができます。CuriousU では、世界各国から人が集まるので、大変よく勉強できると思います。

話す英語が上手になくとも、海外の人たちはなるべく理解しようと努力してくれます。英語が苦手だからと臆せず、是非このプログラムに挑んで欲しいと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	円	
海外旅行保険	円	
授業料(教材費含)	100000 円	CuriousUの参加費がこれぐらいだったはず。確かチラシにある28万には含まれているはず
滞在費(寮費など)	50000 円	寮にしたことによる追加料金です
食費	10000 円	大学にいる間は朝昼晩と支給されるのでそんなにかかりません
交通費	5000 円	
その他(小遣い、通信費など)	円	
計	350000 円	研修費 28万+持参金 7万

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

(申し訳ありません。幾ら画像を挿入しても、代替テキストになってしまうので文章のみでの紹介となります)

ユトレヒト

ミッフィーの聖地ということで、かなり色々なグッズなどがあった。(ミッフィー美術館もある)街の中心にある塔は登ることができ、頂上から街を一望できる。

ザンセスカンス

伝統的な風車が並ぶ場所。おいしいチョコレートを売っているのでは是非買って下さい。

アムステルダム

正直、行くところはかなりあります。中央駅、国立美術館、繁華街(風俗が合法なので、日本とは違った風景を体験できます)、フリーマーケット、アンネフランクの家・・・など美術館等は事前予約できるので、やっておくと便利です。

特にアンネフランクの家は一ヶ月以上前からの予約が必須です！ご注意を

トゥエンテ大学

講義もメインでアクティビティもかなり楽しいです！積極的に参加すると良いと思います。アクティビティでは、脱出ゲームをやったり、映画鑑賞をしたり、ミュージックフェスをやったりします。

ただ・・・支給されるご飯がかなり単調なので、1日フリーの日は良い物食べると精神衛生上よろしいかと思います。自分はステーキ食べました。そのフリーの日にドイツへ行った人もいました(大学がオランダとドイツ国境に近いところにあります)。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 文学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

高校時代から留学を夢見ており、自分の専門やサークルとの兼ね合いが取れるタイミングを狙って渡航を決めました。オランダ研修の強みは留学中のユニークな生活スタイル、国際色豊かな参加者、様々な分野の学習者が一堂に会すこと等だと考え、数ある中から決定しました。留学前の準備としては、専門分野の学習と自分の日本での学びをどう結び付けるかを中心に考えることを心がけていました。オランダでは“Health&Happiness”という心理学寄りの講義を、私の専門分野は日本史学、それでも将来中学校の教員になるために学んでおくべき概念であると思ったため、いかに興味を絶やさずに広く学んでいけるかが選択のカギであると考えます。語学対策は、特にリスニングの経験をもっと積んでおくべきだったと少し心残りがあります。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

研修前半の観光では、異国情緒あふれる市街地探索や、レストランでの現地の方々との交流だったり、日本で味わうことは難しい様々な体験を楽しみました。特に公共交通機関を利用する時など、分からないなりに周りの方に助けを求めたり、自分で調べたりしてどうにか切り抜けていました。CuriousUでは、それまでと一変して自分にストレスのかかる環境に放り出され、周りの会話が聞き取れない、自分の思っていることを上手く伝えられずに苦笑いされてしまう等、辛く感じる時もありました。それでも授業内での少人数グループの意見交換や新しいアイデアを創出する機会があれば率先して発言したり、イベントを通じて仲良くなった外国の友達に英語学習を励ましてもらったりと、だんだん自分に自信をつけて居場所を生み出していくことができました。周りからのストレスは悪いものばかりではなく、確実に自分を強くしてくれたと思います。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

トウェンテ大学では StudentDorm に滞在しました。一人部屋でトイレ・シャワー・洗濯機は共用と、バランスの良い居住地でした。寮によりますが、羽毛布団が据え置かれていたため寒さには苦労しませんでした。トウェンテ滞在中は基本的にお金は必要としませんでした。現金を多少持っておくと生協でのおやつ購入などに役立ちます。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

信頼できる誰かと行動することを心掛けました。幸い盗難や連れ去り等深刻な事態には遭遇しませんでした。エンスヘーデの路地裏など危険をはらむ場所には不用意に近づかない方が得策です。オランダ全土、自転車道と歩行者道の棲み分けに注意しないと、事故になる可

能性があります。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

留学で大切なことは、この経験をいかに今後の生活に活かしていけるか、その質にあると思います。それは専門分野の学習や単なる知識に限らず、感じ取った雰囲気や日本のもので照らし合わせて自分の居場所を再確認したり、友達との会話の中で改めて異文化の特性を実感したり、物理的にも精神的にも将来の可能性を広げたり、人によってさまざまだと思います。

私自身、留学に確固たる理由やハッキリとしたビジョンがあったわけではありませんが、確実に行く前と後では考え方の広がり、深まりを感じています。理由もないのに留学なんて…と考えている時間が一番もったいない！留学を踏み留まる理由を探していったとき、それが無くなるのはいつだろう？と考えると、その理由はそれほど深刻に自分を縛るものではないと気付くはずですよ。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

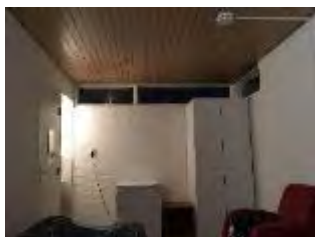
内訳	おおよその額	備考
航空運賃&海外旅行保険	228,000 円	JASSO 奨学金 80,000 円、名大奨学金 100,000 円
授業料 (教材費含)	88,000 円	寮費と一緒に事前にクレジットで支払い
滞在費 (寮費など)	30,000 円	学生寮、鍵返却でのデポジットを抜いた金額
食費	6,000 円	観光時の食費。トウェンテ大学では使っていません
交通費	1,500 円	
その他 (小遣い、通信費など)	10,000 円	海外用 SIM カード 7,000 円
計	363,500 円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



初日の夜はピザパーティー！この写真はほぼ日本人ですが、周りにはアジア・ヨーロッパ・アメリカ…世界各地からの学生が所狭しと並んでいました。最終日には 300 人が顔見知りになるって素敵！



私の学生寮：ほぼ一日中外にいるので寝に帰るだけでしたが、いい生活ができました。虫が苦手な人は、キャビンやホテルを視野に入れてもいいかも…大きなクモとの戦闘に辟易しました。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

一年交換留学を目指して、事前に完全な英語環境での生活を体験したいと思いこの研修に参加しました。研修に行く前にはIELTS対策でやっていたこと(主にリスニング)を中心に語学対策を行っていった。また、専門用語の英単語を覚えていくなどのこともした。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

僕が選択した内容は“smart city”だったのですが、ディスカッションやグループプレゼンなど英語を使う機会がふんだんにあり、この授業を通して十分成長できたと思います。アジア、南アメリカ、ヨーロッパなどなどいろんな国からこの研修に参加しに来る学生がいたため、種々多様な知識を得られることができました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

夏にもかかわらず、意外と寒いので上着を何枚か持参した方がよかったなと思っています。食生活は出されるものを楽しんで食べていれば、十分健康にも大丈夫ではないかと思っています。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

人前では地図などを開けたり、現金を見せたりしないようにはしていましたが、オランダは比較的安全な国だとは感じました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

クラスに日本人が1人だけであったこともあり、この研修を通して人としても英語能力も向上したと思います。二週間と短い期間ではあるけれど、自分の学びたいことを英語で受けられる数少ないチャンスなのでぜひ参加してみてください。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃 & ビザ申請料 & 授業料	28万円	
海外旅行保険	約3万円	
滞在費 (寮費など)	3万円	
食費	約5千円	最初の三日間

内訳	おおよその額	備考
交通費	約 1 万円	電車
その他 (小遣い、通信費など)	3 万円	お土産、入場料など
計	約 40 万 円	

自由記述欄

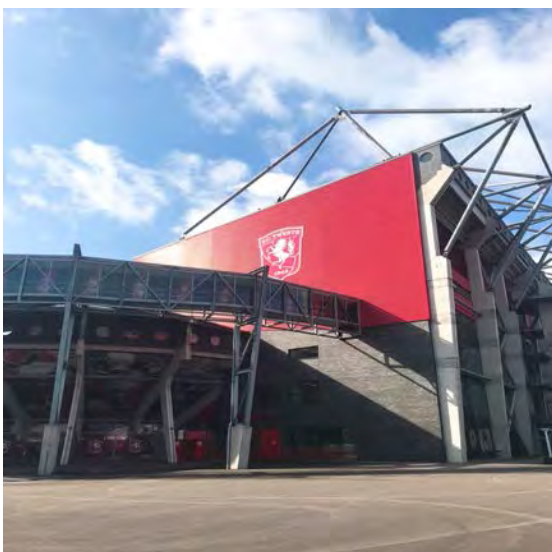
サッカースタジアム訪問

ヨーロッパはサッカーが盛んなこともあり、中堅クラブでも立派なサッカースタジアムを保有していました。また、チケット代も三万円くらいからとそんなに高くはないのでいったらぜひ観戦してみてください。今や、オランダリーグ、エールディヴィジには多くの日本人サッカー選手が在籍しているのでその人を目当てにしていくのもいいかもしれませんね！

昨年 CL で話題沸騰したアヤックスのホームスタジアム、ヨハンクライフアレナです。日本にあるスタジアムとはやっぱりすごさがちがいましたね。



ガンバ大阪から移籍した中村敬斗選手の在籍している FC トゥエンテのホームスタジアムです。中堅とはいえ、やはりデザインに凝っている。



短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

動機：自分の進路の選択肢の一つに海外の大学院への進学が含まれており、自分にとってその選択が日本の大学院を選ぶよりいいことなのかどうかを見極めるための試金石として今回海外への短期研修に応募しようと思いました。Technology&Society コースにした理由は実際に現地学生が受けている授業に一番近い形だと思ったというのが一番のポイントでした。

申込手続：サイトは英語で難しい単語などはなかったので問題なかったです。ただ、クレジットの引落はできているのにトウェンテ大学側からシステムの不具合で参加メールが来ないことがありました。ただ、大学の方へメールを送るとすぐに対応してくれたので良かったです。

語学対策：二年前期に特別英語セミナーを履修していた。ディスカッション形式の授業だったので、英語をしゃべることの訓練を短い時間ではあったが、できたので今回の研修にあたって役に立ったと思いました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

僕が受講していた Technology&Society というコースは毎時間講師が変わるオムニバス形式で、講義を受けながら思ったことを自由に発言または数人のグループワークを行い、意見を出し合うというような授業でした。グループワークの例としては人工肉に関する倫理的な問題を模造紙に書き出すことをしたり、ウェアラブル端末に関する動画を見て、そこに潜在している問題についてグループで pitch を行ったりしました。また、先生の講義中でも欧州系の生徒たちは次から次へと意見や質問を飛ばしていたので、新鮮ではありましたが、まわりの欧州系の学生がどんどん発言していく中で、自分は完全に聞き手にまわっていて授業に参加をしていない感じが少ししたのは個人的には悔しかったです。さらに、来られるそれぞれの講師の方たちは、いろんなバックグラウンドを持つ方々でそれぞれの視点から主に工学における倫理的な問題について聞いたり、考えたりすることは非常に面白かった。ただ、講師によっては発音などが聞き取りにくい人もいたので、そういうときはスライドから読み取るしかなく、きつい場面もありました。

受講者数は13人程度でした。このコースの外国の受講者の年齢層は高く、院生や学部卒、中には他の大学の教授などもいて、知識や経験の圧倒的な差を感じた場面は多々ありました。そのような人が集まることから国際交流というよりは真面目にしっかり勉強しに来たような学生が多く、一般的な日本の大学生と意識の差が歴然としている印象を受けました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

アムステルダム滞在：アンネフランクの家は一カ月前から予約しないと入れないみたいです。他の美術館など（特にゴッホ美術館）も基本はチケットをちゃんと入手していくのが少し安く、当日手間取ることもないのでするべきだと思います。町の出店などを除けば、ヨーロッパは基本的にキャッシュレス社会なので、あまり現金は持っていかなくていいと思います。僕は€250 持参して大半をあまらせて帰国しました。また、僕は VISA カードを持っていましたが、使えないところはトゥウェンテ大学くらいでした。そこでは Master のみは使える(?)とのうわさでした。

curiousU 滞在：student dorm はある程度の広さもあり、ベッドなども硬くなかったのでとても快適でした！また、student dorm には洗濯機があったので洗濯には困りませんでした。ただ、洗剤は現地購入できますが、オランダ語の表記が分からず、適当な量で使っていたので日本から持っていくことをおすすめします。乾かすのには部屋にハンガーが大量にあったので部屋干しをしていました。

JASSO の奨学金が期間内に入ると聞いていたが、お盆の関係もあってか、研修後に振り込まれました。奨学金が入る算段で研修にのぞんでいたもので、誤算でもあり、少し不満な点ではありました。

オランダの天気は一瞬で変わるので折り畳み傘はどんな予報でも常備することをおすすめします。実際、僕は何度か突然の雨で人の傘にお邪魔してもらいました。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

基本的に外出するときにはウエストポーチのようなもの一つだけを携帯することを徹底しました。また、そのウエストポーチも常に体の前に持ってくるようにして目が届く状態をキープしました。あとは周囲の状況をよく観察することは怠りがちですが、意外と重要だと思います。また、curiousU の学生の中で違法的な薬物のようなものに誘ってくる人がいたので、簡単に誘いに乗らないよう気を付けた方がいいかもしれません。ちなみに Coffee shop は裏ワードのようなものらしいです。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

行くことを決断するまでは、自分の英語力が通用するののかという不安や事前・事後授業があることから自分の専門の授業への負担になるのではないかという迷いなどがあったが、この二週間を実際に過ごして日本にいて留学の体験談を聞くだけでは感じられないことを直に感じる事ができて心から行って良かったなと思います。また、研修を通してとにかく自分のスピーキング力がともに受講していたヨーロッパ人と比べて低いことをいい意味で実感した二週間でした。それでもアカデミック英語での議論は難しくても、日常会話ならうまく意思疎通ができたというように自信も得た二週間でした。おそらく基本的な名大生の英語力（自分も含む）では Technology&Society のコースはなかなかついていくのが大変だと思いますが、今の日本の大学の授業に物足りなさを感じている人にとっては授業内で常に自分のアイデアを生み出し、それらを外へ発信する作業の多い欧米式の授業スタイルはおすすめです。実際、その作業を英語で行うことは今の僕にとって非常に難しいことでしたが、新たな刺激を受けることができ、とても有意義でした。

留学を考えている人に向けてはとにかく短期でもいいので一度このような短期研修でもいい

ので行ってみることをおすすめします。人によって留学をするかしないかのメリットデメリットは違うと思いますが、それらを実際にどう感じるかというのは現地に行き、自分で確かめる以外道はないと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
旅行会社への支払い(航空運賃やアムステルダム滞在費など)	215,450 円	
海外旅行保険	15,000 円	
授業料(教材費含)	72,000 円	
滞在費(寮費など)	36,000 円	Student dorm を選んだため。デポジット€50(終了後返却) 含まず。
食費	0 円	curiousU 期間中は授業料に含まれていた。
その他(小遣い、通信費など)	40,000 円	観光中の食費も含む。
計	378,500 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

グループワークで行ったものの一つです。
右図のものは Artificial food の規制について考えた時のものです。これを用いて全体に向けて発表もしました！



授業終盤で教授が受講者全員を学内のカフェに連れて行ってくれた時の様子です。

2-3 時間ほど滞在し、色々話せて楽しかったです！



curiousU のフリーデーでドイツ・ブレーメンに行き、ブンデスリーガを見た時の写真です。

トゥエンテ大学からドイツは近く、行きやすいのでおすすめです！ドイツの都市はアムステルダムとはまた違った雰囲気です！晴らしかったです！！

curiousU の夜のイベントの一つ「Gaming Night」でのチーム写真です。夜のアクティビティに積極的に参加すると交流の輪が広まり、楽しかったです！



短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 農学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

入学したときから海外短期留学がしたくて機会をうかがっていました。今回憧れのヨーロッパでの研修を見つけ、2週間という他と比べたら短めなプログラムだったけれど時期と自分の少ない海外経験を踏まえるとちょうどいいと思い応募しました。また、現地の大学で他の国の生徒と一緒に学ぶことにも惹かれ、このプログラムを選びました。
事前授業ではダイヤモンドモデルを使ったスピーチの練習をしました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

アムステルダムではホテルの部屋が同じ人と一緒に回りました。テスト終わってすぐに出発ということもあって当日まであまり予定が決まっていなくて回りたいところに全部回れなかったのが少し残念でした。ホテルで時間を作ろうとすれば作れると思うので、きちんと計画を立てるといいと思いました。1日目のユトレヒト、ザーンセスカンスは短い時間だったけれど楽しめました。

CuriousUではEnglish for Academic Purposesの授業をとりました。プリントでの授業が多くあまり楽しくない上に英語も難しく心が折れそうになりましたが、後半になるとグループでの活動やディベートの授業が増え他の生徒と英語でしゃべる機会が増え楽しさを感じられるようになり頑張れました。最後の課題として20分間のプレゼンをしました。初めての長さの英語のプレゼンに苦勞して授業中では終わらず毎晩必死に取り組みました。大変でしたが、自信とプレゼンのきれいなまとめ方を身につけることができました。

授業にはあまり外国人の生徒はいませんでした。食事はみんな同じ場所をとるため、話しかければ外国人の友達ができます。毎晩イベントもあったため、外国人の方とお話しする機会はたくさんありました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダム滞在中のホテルはきれいでした。

CuriousU滞在中は寮で暮らしました。私の寮はトイレもシャワーも部屋についていて快適に使うことができました。寮までは少し距離があったため、自転車を借りて通っていました。自転車のサドルがとても高く初めは苦勞しました。日本のものとは違いフットブレーキでした。食事はすべてCuriousUについていたけれど、ほぼ毎回サンドイッチでした。たまに出る白米はあまりおいしくなかったです。

洗濯が高いので下着類など毎日かえたいものはたくさん持って行くといいと思います。私は寮生活だったので洗剤を持って行き、自分で洗っていました。他の寮に住んでいる人に声をかければ寮の洗濯機も使えると思います。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

大事なものは体から離さないこと、かばんはいつもおなかにかかえていました。
また、街で絶対に一人にならないように気をつけました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

このプログラムでは日本人だけでなく海外の意識が高い人たちともふれあえ、一緒に授業を受けられるので、自分の考えを良い方向に変えられたかなと思います。授業はすべて英語で難しく心が折れそうになったときもありましたが、小さいことでもいいから毎日少しずつ自分の中で目標を決めて達成しようと努力したら、とても有意義で素敵な経験になりました。2週間という短い期間ですが、得られるものはとても大きいです。是非参加してみてください。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	22万円	
海外旅行保険	12,000円	学校で紹介されたもの
授業料(教材費含)	12万円	
滞在費(寮費など)		
食費	4,000円	アムステルダム滞在中、Free dayの昼食、夕食、おやつ
交通費	3,000円	アムステルダム観光、Free day、帰り空港まで
その他(小遣い、通信費など)	2万円	レンタルWi-Fi、お土産代
計	38万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



←ストロープワッフル

オランダのお菓子です。滞在中にたくさん食べる機会がありました。個人的には温めて食べるのが好きです。

この写真はチョコをかけました。



↑ミッフィーの信号機

ミッフィーが生まれた街、ユトレヒトには
たくさんのミッフィーがいます。
他にはミッフィーの美術館、お土産屋さん、
看板などミッフィーであふれていました。



↑風車

ザーンセスカンスには多くの風車があります。
それぞれ電力を作る以外に目的を持って動いて
います。中を見学することもできます。
他にも木靴工房やチョコのお店、たくさんの
チーズが試食できるお店がありました。



←アムステルダム国立美術館

アムステルダムにはたくさんの美術館があ
ります。この美術館には牛乳を注ぐ女や夜警
といった絵画があります。夜警は修理中だ
すべてを見ることはできませんでしたが、大
きくて迫力がありました。



←夜のエンスヘーデ市街

夏のオランダは夜 9 時過ぎまで明るい
です。
しかし大抵のお店は 9 時にしまってしまう
のでやる事がなくなりました。
ここではフェスのようなことを行ってい
ましたが、みんなテンションがとても高
かったです。
地面にはゴミ（特に空き缶）がたくさん
散乱していました。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

大学生活で一度は海外プログラムに参加しようと決めていた。数あるプログラムの中で、憧れのヨーロッパに行けて、オランダ人だけでなく、世界中の人々と交流でき、多様な価値観を知ることができると思い、このプログラムに参加した。出発がテスト直後だったこともあり、英語の勉強を全くしなかった。これは本当に後悔している。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

オランダ到着後の2日間はアムステルダムのホテルに宿泊して、ミッフィーで有名なユトレヒト、風車が並ぶザーンセスカンス、運河が美しいアムステルダムを観光した。その後トウェンテ大学に移動して CuriousU に参加した。私は GIS(geographic information system)という分野の授業を受講した。この授業では、先生の説明を聞いた後にパソコンのソフトウェアを用いて実践し、課題を達成するという授業がほとんどで、たまにフィールドワークやドローンを外で飛ばすところを見学した。この分野について無知だった私は、この分野の博士課程のモロッコ人の隣にいつも座り、わからないところは質問して教えてもらっていた。グループワークやプレゼンはほとんどなかった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダム滞在や CuriousU 滞在の生活の様子 (不平・不満、満足したこと)。次の学生が知っておけば便利と思われる内容。

CuriousU 滞在中はキャンプをしたことがない人には環境の変化がストレスになるかも知れない。朝食とランチはほぼ毎日サンドイッチで夕食にたまに出てくる米もそれほどおいしくなかった。シャワーはスポーツ施設のものを使用し、夜は気温が一桁になるのに寝袋はペラペラでパーカーを着て寝ても寒さで深夜に起きることもあった。しかし、食事の味は普通でシャワーは清潔で、夜も寝袋をもう一つもらえたのでなんとかなった。なによりテント生活というサバイバル感が日常と異なって、みんなとも仲良くなれたので個人的には楽しかった。しかし洗濯機がなく、クリーニングサービスを有料で利用しないといけなかった。着替えを多めに持って行くべきだと思う。気候については、3日に2日は雨がふり、晴れても気温は23度ぐらいなので、パーカーや長袖シャツが大活躍する。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

トウェンテでは日本と同じように生活していた。貴重品をテントの中に置いてシャワーや歯磨きに行くこともあった。アムステルダムでは、危機管理オリエンテーションで学んだように、混雑している駅や広場ではリュックを前にかけていた。貴重品はリュックの奥にしまっ

ていた。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

海外に行って初めて自分の英語のできなさにショックを受けるとはよく聞く話だが、まさにその通りだった。相手が話す英語が聞き取れない、自分の考えをうまく伝えられないことがよくあった。しかし、英語力に不安があるからといってプログラムに参加しないのももったいないと思う。自分から外国人に話しかけると、相手はなんとか理解しようとしてくれた。また、滞在中は英語漬けになるので英語力も多少は上がり、英語の話を聞き取れることも増え、会話が長く続くようになった。大事なのは英語力以上に積極性だと思う。自分から話しかけなければ何も起こらないが、積極的に行動することでコミュニケーションがとれ、英語力も上がり、友達が増え、なにより楽しく過ごせる。もしこの文章を読んでいる人のなかで英語力が不安で参加を悩んでいるひとがいるなら、勇気をだして参加することを強く勧める。(もちろんリスニングくらいは鍛えて渡航すべき)

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	220000 円	
海外旅行保険	11000 円	最安のもの
授業料 (教材費含)	72000 円	
滞在費 (寮費など)	0 円	テント 授業料に含まれていた
食費	10000 円	
交通費	5000 円	電車
その他 (小遣い、通信費など)	30000 円	お土産代、通信費、美術館入場料等
計	337000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 経済学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

前年度にモナシュ大学の研修に参加した際、語学の勉強目的で行ったために日本人と関わる
ことの方が多かったため、語学学習以外の収穫がありそうな CuriousU に参加することを決
めた。

事前授業では、現地の大学での専攻科目について調べ、グループ内で発表をした。自身の学習
では、外国人と話すことに抵抗をなくすためにオンライン英会話を続けていた。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

学術的に使うことを目的とした英語の授業を履修していた。基本的にはライティングの練習
をしていたが、一人20分のプレゼンやディベートなども行った。学術的内容の文章書ける
ようにする目的の授業だったため、先生が講義しそれを聞く受け身な授業であった。ただ日
本と違って全てが英語で行われるため確実にリスニング力が上がった。スピーキングをあげ
たいのであれば、わからない部分を先生に聞くことが大切だと感じた。今年のアカデミック
イングリッシュの授業は日本人が多く、他国籍の学生は全体16人中4人だった。とても親
交的な方々だったので一緒にお昼ご飯を食べたり、講義の内容がわからないと教えてくれたり
もした。どうしても授業が一緒の学生との関わりが多くなるので、数少ない外国人と関わり
はとても貴重だった。毎日宿題があるとサイトには書いていたが、実際宿題はなかった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

テント滞在にする場合は、気候の変動が激しいので暖かい服から涼しい服まで揃えて持って
行くべきだと感じた。また、コンセントの数が限られておりなかなか充電できないので、モバ
イルバッテリーは必須だった。食事に関しては、配給制で一定量であるため、多く食べたい人
はカップラーメンなどの間食を持って行くべき。テント滞在でない人は関係ないが、洗濯は
お金がかかるので、なるべく多く服を持って行くことをお勧めする。何かわからないことや、
不安なことがある場合には現地のスタッフに相談すれば大抵の事は解決できるので、ためら
わずに相談するべき。(現地で買ったカードゲームがオランダ語でわからないと言ったら全部
英語翻訳してくれるほど親切だった。)

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

テントのチャックを南京錠で締めていた。財布と携帯は常に身につけることができるように、
小さなボディバックを持っていた。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

外国人と関わらざるを得ない環境に置かれるという事は英語のスキルアップに必要な事なのでこのプログラムは交換留学を目指している人や、交換留学はいけないがそれらしいものを体験したい人に合っているプログラムだと思う。英語力が上がったかどうかは定かではないが、外国人と話すことに抵抗をなくすことができたのは確かであるので、英語ができないからそこのプログラムに参加するべきだと思った。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	220000 円	海外旅行保険と合わせて
海外旅行保険	円	
授業料 (教材費含)	74000 円	
滞在費 (寮費など)	0 円	テントだったので
食費	ほぼ 0 円	フリーデーの自費の食事を除けば学校で食事が出たのでほぼ 0 円
交通費	10000 円	ドイツに行ったので高くなった
その他 (小遣い、通信費など)	20000 円	Sim カードを使ったので通信費は 1 0 0 0 円程
計	324000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



左の写真はスポーツセンターからテントに移動している時の写真です。テント滞在 2 日目にして嵐が来るという予報を受けてスポーツセンターにみんなで避難しました。嵐が過ぎ去った次の日にはまたスポーツセンターからテントに移動しなければならなくて、寝袋、キャリーケースなど全ての荷物を持って移動するのは大変でしたが、外国人に助けってもらったり、荷物の持ち方を試行錯誤するのは楽しかったです。(スポーツセンターで全員が寝泊まりできるのならテントじゃなくてずっとスポーツセンターにいさせてくれればいいのになぁ…と思ったりも、)

右上の写真はビーチバレーボール大会の時の写真です。日本人同士でチームを組んだので相手が外国人チームだった時はボロ負けでした(^_^)でもその分点数が入った時の嬉しさは倍増!! そうはいつでも外国人とチームを組むのをオススメします!! 仲良くなれますよ!!

右下はスポーツセンターで寝泊まりした日に同じ名大方々とゲームをして夜更かしした時の写真です。日中外国人と関わってる分、夜に日本人同士で集まっておしゃべりすることが多かったです。知らないうちにかかっている心のストレスを共有し合うことができるのは日本人だけだからたまには日本人と関わるのも大事!! でもスポーツセンターに泊まった日は特別施設が遅くまであいていただけで、普段は 11 時ごろに全ての施設が閉められてしまうので、ドミトリーの子の部屋に遊びに行くのも楽しいです(o^^o)



上の写真は、ミュージックナイトの時の写真です。DJ の方が来てくれて夜の 2 時まで踊り明かす最高の夜です(*^^*)外国人の踊りがつますぎて日本人の出る幕がないと思いきや、バク転できる子が輪の中心で披露していてとてもカッコよかったです! 何か一芸持っていたり、少しでもダンスが踊れるともっと楽しかったはずなので、練習オススメです(^_^)

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 法学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウエンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

一年の後期に星野先生の授業を受講していて、授業で紹介があってそこで知りました。ただの語学学習ではなく英語を使った研修に参加したいと思っていたので、当初はモナシユ GPP と迷いましたが、プログラムの内容を見てこの研修の方が色々な国の人が集まる上、彼らと密に接することができ自分にとって良い経験となると思ったので応募しようと決めました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

この研修はオランダ到着後 2 日間のオランダ観光とその後のトウエンテ大学で開かれた CuriousU というサマープログラムへの参加が主な内容です。オランダ観光は一日目はユトレヒトとザーンセ・ス・カンス、二日目にアムステルダム市内と決められていて、ほとんど自由に自分たちで行きたい観光スポットを決めて回ることができたので満足でした。また CuriousU では授業履修が中心で 10 個くらいある科目から一つ選択するのですが、私は health & happiness という科目をとりました。21 人のクラスメイトとともに座学やディスカッションなどを中心に授業を受け、最終日には 5,6 名でプロジェクトに取り組んだ成果を発表するプレゼンがありました。自分の専門ではなかったですが、テーマが面白くて楽しめました。また科目の学習は 9 時から 17 時までで、その後はダンスやスポーツなどのイベントがあり、普段日本ではなかなかやれないこともやれてとても楽しかったし他の国との学生とのいい交流の機会にもなりました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

アムステルダム滞在で宿泊したホテルは特に不便はなく、朝食が素晴らしくてよかったです。CuriousU での滞在方法は他のものも選べましたが、追加料金不要なテント宿泊を選択しました。特にシャワーは徒歩 5 分のスポーツセンターでしか浴びられず、時間の制約もあったので不便に感じました。またオランダは日本に比べて気温が低いと聞いて長袖シャツなども持ってきましたが、一日の中で寒暖差が激しくテント生活だったこともあって衣類の調整には苦労しました。朝外に出ると息が白くなっていたのには驚きました。なので幅広い種類の衣類を持ってくことをおすすめします。洗濯は可能ですがとても料金が高いため、自分で洗濯できる用意や衣類の消臭剤を持っていったほうがいいです。また朝食は毎日ほぼ同じだったので飽きました。持ってきやすい日本食一つ持っていくといいです。総じてテント生活は最初はとても大変でしたがだんだん慣れてきて何とかできます。テントに慣れてない人は他の滞在方法を選んだほうが良いと思います。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

気を付けたのは貴重品の管理くらいでしたが、麻薬などは合法で(実際に取引の様子を見ました)、移民らしき人も多く見かけ日本と環境が異なっていたので、街を歩くときは自分の周りには注意を払うようにはしていました。CuriousU は大学キャンパスで行われるので危険と感じたことはありませんでした。あとはテント生活で念のため南京錠を持っていきましたが割と役立ちました。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

この研修に参加して本当に良かったと感じています。このプログラムには異なる多くの国々から学生が集まっており、英語を使って授業を受け会話をしてアクティビティに取り組むので、日本人と話すときを除いて常に英語を使っていました。そのため自分の英語がどれくらい通用するのかということを実感することができ、改善すべき課題も見つかり英語の学習に対するモチベーションがあがりました。また、多様性に富んだ国々の人々と10日間朝から夜まで生活を共にして時間を過ごしたことで非常に密な国際交流が出来たと思っています。日本で留学生と接しているときや、おそらく語学学校に通うときと比べて格段に異文化に接している時間が多かったと思うので、そこから得られる異文化の体験や気づきというのは本当に貴重でした。また参加した日本人もすごいひとばかりで、日本人との交流という意味でも刺激的でよい経験が出来たと思っています。

留学で語学学習するのは物足りなさそうと感じている方や、英語で国際交流をしたいと思っている方に特におすすめしたいです。レベルちょっと高そうと思ってもぜひチャレンジしてみてください。全ての人が初対面なので、自分の努力次第で友達を増やすことが可能ですし、参加する人たちも、違う国の人と仲良くなりたいたいという思いで来ているので、とてもフレンドリーに接してくれ、友達は作りやすいと思います。

また交換留学を希望している人で、そのイメージを掴むために参加するというのもよいと思います。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&プログラム費	28万円	
海外旅行保険	約15,000円	
小遣い&交通費	50,000円	60,000円を現金で持っていったが余った。
計	約35万円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



↑ 滞在したテントの写真です。



↑ CuriousU のメインエリアです。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

まず、僕が留学したかった理由は自分の肌で外国の人や文化に触れたかったからで、昔から人が住んでいるヨーロッパに行ってみたいと思いました。またそこで語学ではない何かを勉強したいと思っていたのでこの授業をとりました。留学前は英単語や速読を少しだけやりました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

僕がとった Robot Interaction Design Experience では、初日の午前中に『ソーシャルロボットとは何か』という授業を受け午後に関発するならどんなソーシャルロボットにするのかというテーマで4人班でブレインストーミングをし、2日目から最終日前日まではプログラミングでした。2日目は入門で3日目はモーターなどが組み込まれたロボットを制御するプログラミング、4、5、6日目は6人班になり自分たちで人間とロボットの相互関係をテーマにしたシナリオを作り、それを動画にしました。最終日の午前中にラボツアーをした後、午後に行った動画を発表し、どんなロボットなのかプレゼンしました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

CuriousUでの生活環境はあまり良くなかったです。テントは毎朝結露で濡れていて、食事は野菜が少なく、朝と昼は毎日ほぼ同じでした。シャワーは高さが固定されていてオンのボタンしかないの温度調節はできませんでした。また、シャワールームの構造上床が水浸しになるのでビーチサンダルのようなものはあったほうがいいと感じました。ヨーロッパの物価は少し高いと感じました。そのほかは特に気になる点もなく、気温、湿度ともに丁度よく日本より住みやすいくらいでした。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

思っていたより治安が良く、少し気をつけるだけでいいと思います。現地の人で無防備に寝ていた人を見て安心しました。

5. 留学を終えて感じる事 & 留学を考えている学生へのメッセージ

外国人に対する見方が変わりました。今までは国のイメージで人柄を判断していたのですが、実際に交流することで、人間には国籍などは関係なく一人一人違う考え方を持っていてその国の人だからこういう考えだという風に決めつけてはいけなと感じました。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	220,000 円	
海外旅行保険	10,000 円	
授業料（教材費含）	700,00 円	
滞在費（寮費など）	円	
食費	約 70,000 円	
交通費		
その他（小遣い、通信費など）		
計	円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

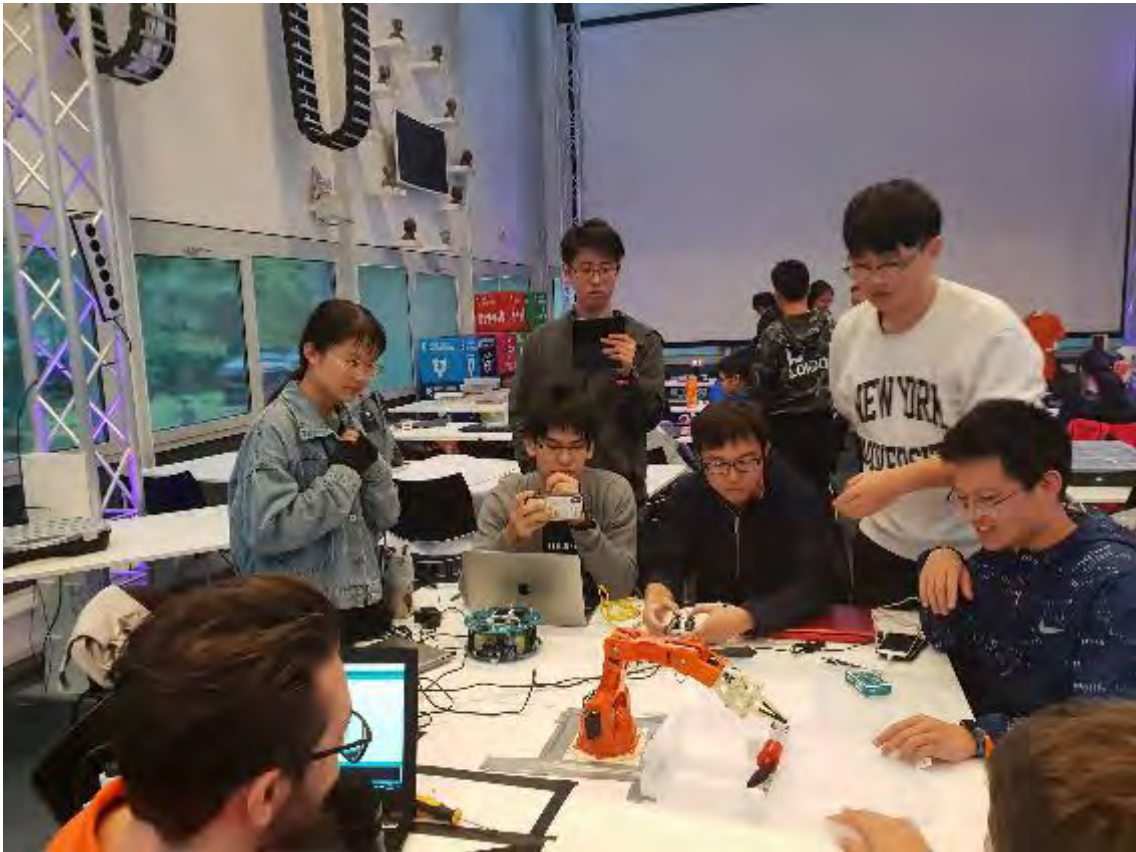
↓↓↓



アムステル公園というとても大きな公園を散歩しました。2時間半くらいいても全部回りきれないくらいでウサギや牛、アヒルから見たことないものまでたくさんの動物がいたり、面白い遊具があったりととても楽しかったです。



授業後に現地の少年たちとサッカーをしました。大学にきている CuriousU に関係ない人にも積極的に話しかけられるようになりました。大学生3人vs13歳2人なのにボコボコにされました。



グループになってオレンジのアームに組み込まれた6つのアームを2つのジョイスティックで制御するプログラミングを書きました。グループ対抗で5いろいろな形のを掴んで箱に移動させる時間を競いました。思っていたより盛り上がり、勝つためにプログラミングについて自分から学ぼうと思いました。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月

所属 & 学年 | 情報学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

私は、今年の春休みに初めての海外旅行へ行ったことをきっかけに、短期留学に参加することを決めた。初めての海外渡航は、出発前から戸惑うことばかりで、一緒に行った海外経験の多い友人に頼るばかりであった。1年間の交換留学に行きたいと思っていた私は、このまま留学に行っても海外に慣れるまでに時間がかかってしまい、満足に学んだり、他の留学生と関わったり出来ないのではないかと感じ、交換留学参加の第一歩として短期留学に応募することにした。交換留学でお金を使うことが分かっている、短期留学にあまり費用をかけることができないため、テント泊や2週間というプログラムの短さから比較的参加費が安いCuriousUに申し込んだ。毎晩イベントが行われることや、ヨーロッパへの留学ということも魅力的であった。事前授業ではオランダのことや自分の専門について調べ、交換留学に生かせるように渡航準備や危機管理に関する調査は自分自身で入念に行った。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業は English for Academic Purposes を受けた。基本は講義形式で、学術的な英作文の書き方を学び、最終課題として20分程度のプレゼンを1人ずつ行った。公的な文章にふさわしい英単語や、構成について学べたことがとてもためになった。

しかし、この授業は日本人受講者が大半を占めていたため、授業以外の時間で海外から来た学生と関わるように意識した。ご飯の時間や夜に行われるイベントで積極的に自分から話しかけることで、気軽に話せる友達が増えていき、一緒にジョギングやカードゲームをしたり、休みの日に出かけたりするのがとても楽しかった。英語でたくさんの人と話すのは大変だったが、日本と海外の文化や考え方の違いや、お互いの好きなことについて伝え合うことが出来たのはとても良かった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

テント泊はとにかく寒いので、防寒用具を十分に用意することを強く勧める。10℃を下回る夜もあったため、ヒートテックを持参したことは正解であったが、カイロやネックウォーマーも持って行くべきであったと思う。

他にも、防犯グッズとしてのテント用の南京錠や、海外の学生に渡すために持って行ったしるこサンドは大いに役に立った。ヨーロッパは雨が多く、その上テント泊で移動も多かったため折りたたみ傘も便利であった。一方で、毎日サンドウィッチを食べなくてはいけなくて飽きてしまったため、カップヌードルのようなインスタント食品を持って行けば良かったと思った。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

出発前の危機管理オリエンテーションや、外務省のホームページから得た情報を元に危機管理を行った。街に出る際にはリュックサックを前向きにかけたり、スマホや財布をむやみに出さないように気をつけたりした。オランダには日本にはない自転車専用の道路があり、意識をしないでそこを歩いてしまうと轢かれそうになって危険を感じた。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

留学中は、日本にいる時よりも積極的で前向きな自分に気づくことが出来て嬉しかった。仲良くなろうと自分から話しかけ、英語で自分の気持ちをなんとか伝えようとする姿勢を日本でも忘れないようにしたい。また、テント泊や知らない街で英語を使って移動するという経験から、誰かを頼るだけでなく、自分自身で考えて行動することの大切さや楽しさも学び、自分の考えを強く持って動ける人を目指したいと思った。

少しでも考えている方には、ぜひ留学に参加することをおすすめします。短期の留学でも日本以外の土地で、日本人以外の人と関わることで違う文化や考え方を知ることができるからです。そしていつもと違う自分にも気づいて日本での生活に活かすことが出来ると思います。

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	28万円	
授業料（教材費含）		
滞在費（寮費など）		
食費		
海外旅行保険	1万円	
交通費	3万円	
その他（小遣い、通信費など）		
計	33万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



市街地観光では大量のムール貝を食べました。



日本では見たことがないカードゲームをしました。英語で説明を受けて遊ぶのは難しかったですが、新鮮で楽しかったです。



ジョギングをしたときには大学の敷地外に出てしまい戸惑いましたが、自然豊かなトゥエンテを探検することができました。ジョギングをする朝はとても気持ち良く、勇気を出して一緒に走ろうと言われて良かったと思いました。



休日は国立公園へ行きました。フットペダルの自転車に初めて乗ってドキドキでした。このとき一緒に出かけた台湾の子達とは一番仲良くなれました。

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 工学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

この科目は他のものと比べ、講義による学習が主であるということを実際にサマースクールのウェブサイトを見て感じました。もともと英語で専門的な講義を受けてみたいと思っていたので、ちょうどいいと思い参加を決めました。また、ヨーロッパに行く研修で、お金も他と比べてそれほど高いというわけでもなかったのも理由としてあります。

事前授業では英語で自己紹介や自分の選択したコースの内容について調べて英語で紹介する練習をしたり、安全対策講座を受けたり、価値観の多様性について学んだりしました。

それに加え、僕の場合は自分のスピーキング力とリスニング力が全然足りていないことが分かっていたので、事前に英語の勉強が必須でした。とにかく TED など英語のスピーチを聞いたり、毎日シャドーイングをしたりしていました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

まず現地に到着したのが夜で、一度寝てからは2日間オランダの観光地を回り、3日目から8日間のサマースクールが始まりました。

僕が選んだコースは“Water”です。GISを用いたハザードマップの作成、地球の水の循環について、薄膜を利用した汚染水のろ過、Produced Waterなどを学習しました。

授業の様子は、途中グループワーク→プレゼンや実験室見学、課外学習(提携企業の見学)があったものの、基本的には日本のように先生の話聞いている時間が長かったです。

しかし、そんな授業でもヨーロッパの生徒は普通に先生の話遮って質問や意見を述べるようです。日本の講義になれていて、そもそも英語があまりうまくなく授業についていけずで精一杯の僕は発言するのはとても厳しかったです。

グループワークでは、水に焦点を当てた都市計画や“Produced Water”を処理する技術について調べました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

サマースクール中の滞在方法として、テントや学生寮から選べます。テントが一番安いです。僕はテントを選んだので、テントで生活する人向けに書きます。

まず、テントは自分とスーツケースが入ったらいっぱい着替えがしづらいサイズです。寝袋ですが、こちらは十分柔らかく寝やすいです。困ったこととして、向こうはとても寒かったです。いくときは冬用の厚着を一枚は持って行った方が良いでしょう。あとはセキュリティ用に南京錠もあるといいでしょう。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

基本的にオランダの治安はいいと感じました。一応 22 時以降は大学以外では出歩かないようにいわれていました。
アムステルダムでは、一度だけ怪しい人に声をかけられたので、注意した方がいいと思います。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

今までこれほど英語で頑張って話しかけていくことをしなかったのがなかったので、今回の研修のおかげで自分に自信を持って、かなり積極的に話しかけられるようになったのを強く感じました。英語を使うことに抵抗がなくなったのは一番僕としては大きいです。また、先生の話がこれほど一生懸命。聞き逃さないように聞いたのも初めてで、集中力がついたと思います。さらに、今回の講義を通して環境問題や水不足問題に強く興味を持ちました。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
海外旅行保険	4,000 円	
授業料 (教材費含) ,航空運賃	300,000 円	
滞在費 (寮費など) ,食費	60,000 円	
交通費	3000 円	
その他 (小遣い、通信費など)	20,000 円	
計	387,000 円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。



アムステルダムの写真です。僕は受け入れ先の大学に行く前とサマースクール途中の自由日の 2 回行ったのですが、どちらもとても楽しむことができました。写真のような水路が町中至る所にあって、この水路ときれいな家の組み合わせが最高でした。

(研修にまつわる写真で他の人とかぶらなさそうなものを持っていないので、観光地のものになってしまい申し訳ないです。)

短期研修報告書

記入 | 2019年 9月
所属 & 学年 | 法学部 2年生

留学先大学 (国名)	オランダ・トウェンテ大学
短期研修のプログラム名	欧州現代事情Ⅱ・CuriousU
留学した期間	2019年8月8日-21日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

アジア圏の人々に限らず、たくさんの国の人と出会えるのが一番の魅力でした。“英語研修”という形でいくと、結局現地と一緒に学ぶのが日本人だったり、英語ネイティブの人たちと対等に交流できる機会が少なくなかったりすると思ったからです。

出発前は、自分が選択した科目に関連する文献(英語)を読んでまとめ、事前授業のなかでスピーチをしました。英語学習は、この研修のために改めて何か新しく特別なことはしていません。それまで通りの学習を続けました。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

CuriousUでは、Health and Happiness というコースを選択しました。レクチャーやワークショップが中心で、最後にグループでプレゼンテーションをしました。先生やクラスメートはとても優しくいい人ばかりでしたが、やはり、英語が話せる前提で物事が進んでいくので、ある程度語学力がないと厳しいと思います。特に宿題などはありませんでした。授業外でも様々な人と関わる機会があるので、積極性があればいくらかでも友人をつくることできると思います。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

オランダは天気が極端に変わりやすく、大雨だとおもったら急に晴れたり、強風が吹いたり大変でした。温度調節のしやすいもの、ウィンドブレーカーなどを持っていくことをおすすめします。特に早朝と夜日が落ちてからは冷え込むので、手持ちの服では寒さをしのげず、現地でパーカーを買う子が多発しました。私は一応ヒートテックを持っていったので、ほぼ毎日着ていました。シャワーに行くときのために、一足濡れてもいいサンダルを持っていくといいです。また、文化交流として日本からのお土産を持っていくと喜ばれます。金銭管理について、EURO だし、現金よりクレジットカードをよく使うので、浪費しないように時間がある日に日本円に大まかに換算して把握できるようにしました。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

パスポートと複数あるクレジットカードのうち一枚は、常に首から提げる形で携帯した。鞆もなるべくコンパクトにして、背中ではなく自分の前で持つようにしました。

現地で知り合った子の鞆が一瞬目を離した際に、自転車に乗ってきた男性に私たちの目の前でひたたくられてしまい、とても怖い経験をしました。大袈裟ではなく、本当にあり得るので、万全に万全をつくしてください。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

英語力、特にリスニングを鍛える必要があると感じました。参加学生は多国籍で英語がネイティブでない子も多く、独特のアクセントがあり聞き取りにくい子もいて、様々な話し手に慣れることも大事だと思いました。だからこそ、このプログラムはたくさんの子に出会ういい機会です。また、語学力だけでなく、予備知識やディスカッション/プレゼンテーションスキルも高めることが必要な措置だと感じました。

全体を通して、今回の研修はとても有意義で楽しく、日本に帰りたくないと思ったし、帰国後もオランダに戻りたいと思うほどでした。迷っているのであれば、参加してみることを強くおすすめします。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	約 23 万円	
授業料 (教材費含) 滞在費 (寮費など)	875,00EURO (約 10 万円)	Log Cabin に泊まったので、基本プログラム料金に extra で支払った。
海外旅行保険	13980 円	
食費	円	基本 3 食大学で容易されていたので不明。(プログラム料金に含まれている) レストランでちゃんと食べても 1000 円かからないと思う。
交通費	5000~6000 円	電車、トラムなど。ドイツへも行ったので少し高くなっているかも。団体割りりはマスト。
その他 (小遣い、通信費など)	30000 円	現金は 2 万円分くらいがちょうどいいと思う。 カードが使えることも多いが、大学の生協は Cash Only だったし、友人と割り勘するときが必要。
計	約 38 万円	

自由記述欄



これはルーマニアで使われている貨幣です。CuriousU で知り合った、ルーマニア人の友人たちが見せてくれました。恥ずかしながら、LEI という貨幣単位がある事も知らなかったので、とても勉強になりました。「どこの国でも、有名人と建物や花をデザインで使うのは一緒なんだね！」という話になって、お互いの国の貨幣のデザインを説明し合うことになったのですが、意外と細かいところまでは意味を把握できていないもので、「こんなのが描かれてるなんて知らなかったわ(笑)」というのがお互いにいくつかあり、逆に盛り上がりました。また、ルーマニアでは貨幣価値が暴落している、といった少しシリアスな話も聞きました。最後に、「これを見ていつでも私たちを思い出してね！」とあって、音符の模様のか

わいいものをくれました。100 円くらいの価値のお札です。私もデザイン的にはお札をあげたかったけど、それができるほどリッチではないので、100 円硬貨をお札に交換しました。これから先このルーマニアの友人たちのことを忘れることはないでしょう。

キャンパス内にある、とある建物の一室。

図書館かと思って入ってみたら、本だけでなくボードゲームがたくさんあって、そこに居た人に聞いたらクラブ活動の場だということ。何時間でもくつろげそうなとても温かい素敵な雰囲気のある場所でした。学生が使えるこんなスペースがよいいされているなんてうらやましい！

トウエンテ大学は本当に広大で新しく綺麗で、建物もハイテクかつハイセンスで衝撃でした。「これがしたい！」と学生が思い立てばすべてが実行可能なのではと思うほどの施設・設備の充実度で、学生の自由も重んじられていると感じました。学生の幸福度が高く、ストレスが少ないと言われるのも納得です。

